

家庭学習の手引き

家庭学習の約束 家庭学習の習慣化を

本校では、「基礎基本の確かな定着」をめざし、読解力育成、漢字・計算力向上に重点をおいて指導を行っています。これらを定着させるためには、繰り返し学習する必要があります。家庭学習が習慣化すると、勉強を楽しいと感じ、自ら学ぼうとする意欲の高まりにもつながると考えます。

1～4は子どもの約束、5はお家の方の約束です。保護者の皆様には、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。学期ごとにチェックをしてください。

良くできた◎ できた○ もう少し△	1学期	2学期	3学期
1 時間を決めて毎日取り組む(学年×10分以上)			
2 机の上には学習用具だけを置く			
3 テレビを消す			
4 文字をていねいに正しく書く			
5 子どもの頑張りを認めてあげ、ほめてあげる			

子どもへのかかわり 学習の様子を見て丸付けやアドバイスを

1・2年生

ほめて、やる気をおこす！

↓
↓
↓
↓

- ・学習を始める前にテレビを消しましょう。
- ・学習する場の整理整頓をしましょう。
- ・<寄り添う>など近くにおいて、できたことをほめてあげましょう。

3・4年生

認めて、ほめて、自信をつける！

↓
↓

- ・自分から机に向かい、集中して取り組む習慣をつけさせましょう。

5・6年生

見守って、伸ばす！

- ・計画を立てて学習が進められるようにしましょう。

学習の時間

学年	時間	こなめやすで	内 容
1年	10分以上	家庭学習の	音読 視写 宿題プリント ドリル
2年	20分以上	リズムづくりから	一人勉強
3年	30分以上	集中して	音読 視写 宿題プリント ドリル
4年	40分以上	継続できるように	一人勉強【3年1ページ以上 4年2ページ以上】
5年	50分以上	毎日の予習・復習	音読 視写 宿題プリント ドリル 一人勉強
6年	60分以上	を欠かさずに	【5年2教科以上2ページ以上 6年3教科以上3ページ以上】

学習用具

学習用具を整えることも大切です。学習するときは、鉛筆を使用させてください。使用する鉛筆の目安は、低・中学年では2B・B、高学年はB・HBです。学校では、シャープペンシルの使用は禁止しています。

一人勉強では、どんなことをすればいいの？

国語	教科書の書き写し 新聞などの文章の書き写し 漢字練習 漢字を使った文作り 熟語調べ 意味調べ 日記 詩 俳句 本を読んだ感想
算数	計算練習 学習を生かした問題作り 教科書の問題の復習 他の問題集をやる
社会	復習（ノートに要点を整理する） グラフや写真の読み取り 新聞の切り抜きをしてその感想をまとめる インターネットや資料で詳しく調べる 感想
理科	復習（ノートに要点を整理する） 観察記録 観察日記 インターネットや資料で詳しく調べる 実験をしてまとめる 感想
音楽	音楽記号の復習 楽譜を書き写す 鑑賞した曲の感想を書く
図工	スケッチ イラスト 鑑賞した作品の感想を書く
家庭	復習（ノートに要点を整理する） 学習したことの実践
体育	保健の復習（ノートに要点を整理する）
総合	興味のあることについて家の人や地域の人に聞いて調べる

学習のワンポイントアドバイス

音読	文章を声に出して文章を読むことは、正しく意味を理解するだけでなく、脳の活性化にもなるといわれます。引かかることもあると思いますが、継続することで上達していきますから、ほめること、励ますことを基本にして取り組ませてほしいと思います。
漢字練習	漢字は、繰り返し練習で着実に身につけさせたいと思います。授業では、筆順の指導も行っています。書き癖や忘れるなどで、筆順の間違ひを見つけたときは、それを正すようにお願いします。教科書の単元末や巻末に筆順が出ていますので、参考にしてください。
日記	学校や生活の中での出来事や思い出などを書きます。文字や言葉の使い方が間違っているときは、お子さんに読み直させて、間違いに気付かせるようにしてください。ただ、自分が感じたことをのびのび表現することも大切なので、やり直しが多くなって書くことが嫌にならないようにしたいものです。
算数 (計算・復習)	分からない問題があったときは、お家の方が教えて構いません。ただ答えを教えたり、代わりに解いたりするのではなく、お子さんの補助としてアドバイスをお願いします。

家読の取り組み

家族みんなで読書活動に通りくむことを「家読（うちどく）」といいます。家庭学習の一つとして日常的に取り組むことによってよりよい学習習慣が身につきます。低学年は読み聞かせでもかまいません。家庭学習といっしょに日常的に取り組みましょう。